

歌仙をえがく

Paintings of the Immortal Poets
: Tales of Gods, People and Poetry
 — 歌・神・人の物語 —

2020 9.5 SAT
 ≡
 10.18 SUN

開館時間=10:00~17:00(入館は16:30まで)
 休館日=月曜日(ただし、9月21日<月・祝>は開館)、9月23日<水>
 入館料=一般1,000円/高・大学生 500円/中学生以下無料
 ※障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。
 ※20名以上の団体は各200円引き。

[タクシー来館特典]
 タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館無料
 ※当館のご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

主催=海の見える杜美術館
 後援=広島県教育委員会、廿日市市教育委員会
 土佐光起《三十六歌仙画帖》より(江戸時代)

海の見える杜美術館



歌仙をえがく

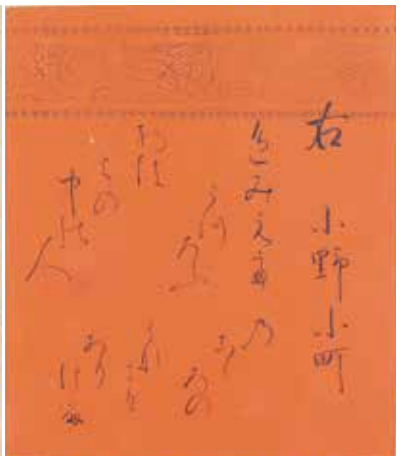
歌・神・人の物語

三十一

文字に豊かな世界を詠む和歌は宮廷文化の基盤を支え、書や絵画など多様な視覚芸術を生み出してきました。そのひとつに、優れた和歌を詠んだ歌人を「歌仙」と呼び称揚し、その肖像を描く歌仙絵があります。平安時代末に始まった歌仙絵は中世を通して隆盛し、歌の上達を願って神仏に奉納されることもありました。江戸時代にはいると、後陽成天皇や後水尾天皇らによる王朝文芸復興の気運の中で、歌仙絵も新たな盛り上がりを見せます。同時に、徳川將軍家を中心に百人一首の歌仙画帖が盛んに作られたことは、武家もまた歌仙絵を文化的権威をもたらす絵画として重視したことを示しています。また、歌仙を主題とした版本が刊行され、歌仙とその和歌は江戸の庶民の教養として広く浸透し、浮世絵にもその姿を留めていくのです。本展覧会では、江戸時代を中心に、歌仙たちがいかに描かれ、物語られ、そして愛されてきたかを、所蔵品によってたどります。

① 岩佐派(三十六歌仙図 中納言家持) 江戸時代 ② 後陽成天皇(柿本人麿肖像自画像) 江戸時代 ③ 土佐光起(三十六歌仙画帖より「小野小町」) 江戸時代 ④ 鈴木春信(見立草紙洗小町) 江戸時代 ⑤ 三代歌川豊国(見立三十六歌撰之内「紀貫之初代中村仲蔵の関兵衛」) 江戸時代・嘉永五年(一八五二)

Paintings of the Immortal Poets : Tales of Gods, People and Poetry



イベント情報

当館学芸員による ギャラリートーク

日時 | 9月19日(土)
10月3日(土)
10月17日(土)
13:30~(45分程度)

会場 | 海の見える杜美術館 展示室

参加費 | 無料
(ただし、入館料が必要です)

事前申し込み | 不要

同時開催

香水瓶展示室

海の見える杜美術館では、長年にわたり香水瓶の蒐集および調査をしてまいりました。本展示室ではその香水瓶コレクションより、古代エジプトから現代ヨーロッパまでの時代や地域ごとに分けた、選りすぐりの作品をいつでもご覧いただけます。

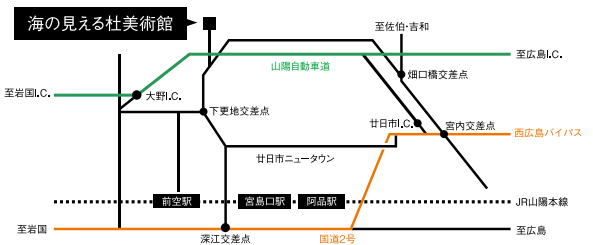
ドルセイ社 香水瓶
《ボエジー・ドルセイ》
デザイン:ルネ・ラリック
1914-1920年

竹内栖鳳展示室

栖鳳と粉本

竹内栖鳳家伝来の絵画資料より
竹内栖鳳は、絵を学び始めたころから、粉本、つまり古画の模写や縮図、スケッチなどを重視し、大切に収集・管理していました。このたびの企画では、当館が所蔵する粉本の一部と、古画の学習の形跡が色濃く残る青年期の作品をご覧ください。

上:竹内栖鳳 縮図 明治12年(1879)頃 下:竹内栖鳳《尉と姥図》(部分) 明治23年(1890)頃



■アクセス情報

山陽本線「宮島口駅」または広島電鉄「広電宮島口駅」からタクシーで約10分
山陽自動車道「大野I.C.」から車で約10分

■タクシー来館特典

タクシーでご来館の方、タクシー1台につき1名入館無料。
※当館ご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

海の見える杜美術館

learn from nature and pursue art & culture

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701
Tel: 0829-56-3221 E-mail: info@umam.jp
http://www.umam.jp